

令和3年12月三田市議会定例会(第364回)一般質問発言通告一覧

(第2日・12月10日 個人質問)

21番 今北 義明 <一問一答>

- 1 三田市民病院改革プランの取り組みについて
 - (1) 現在の取り組み状況について伺う。
 - (2) 今後のスケジュールについて伺う。
 - (3) 他市病院再編・統合事例における旧病院の活用方法について伺う。
- 2 株式会社サンフラワーの諸問題について
 - (1) 現在の経営状況と借入残高・返済計画について伺う。
 - (2) 共同フロアの管理体制について伺う。
 - (3) パスカルさんだフラワー店撤退の対応について伺う。
 - (4) フローラ88との連携について伺う。
 - (5) 設立当時の連帯保証人に対する現状について伺う。

2番 水元 サユミ <一問一答>

- 1 子育てと市立幼稚園、市立学校再編に係る諸課題等について
 - (1) 幼稚園再編の意見交換会では「反対」「条件付き賛成」が多数を占める。修正案を市民が受け入れない場合、計画案の再変更はするのか。
 - (2) 幼稚園再編は地域への影響が大きい。市民の意見を聞くために時間をかけていく必要があるのではないか。
 - (3) この間、議会等の答弁の中で公共施設である小中学校のあり方について今年度中に取りまとめると発言があった。市はどのような方向性を持っているのか。
 - (4) 議会等で答弁のあった小中学校再編・統合について、幼稚園と共に学校再編統合は地域のあり方を大きく変えることになる。再編統合反対の市民の声を市はどのように受け止めるのか。
- 2 生理の貧困に関する諸課題について
 - (1) 市では防災備蓄用の生理用品を配布する取り組みをした点、11月以降も配布を継続していることは評価できるが、なくなり次第終了としている。今後も継続して配布するべきではないか。
 - (2) 窓口に来た貧困状態にある方を支援するため、関係部署につなげるなどの連携はどのように取り組んでいるのか。
 - (3) 生理用品もトイレトペーパーのように学校や公共施設等の個室トイレ内に設置することはできないか。

6番 中田 哲 <一問一答>

- 1 ゼロカーボンシティ実現に向けた課題について
 - (1) 地域の資源、人材を生かした環境教育について。
 - (2) 2050年CO2排出量実質ゼロ達成へ向けた、2030年時点での中間削減目標の設定について。
 - (3) 環境ビジネスアイデアコンテストやフリーマーケット等、若年層・学生を巻き込んだ環境イベントの開催について。

2 地域福祉の課題について

(1) 社会福祉協議会が運営する地域福祉支援室と、市民センターとの窓口レベルでの連携強化による、市民が相談しやすい地域福祉相談窓口体制の確立について。

3 移住婚活支援の取り組みについて

(1) 婚活事業を行う民間事業者・団体と、市が行う移住促進事業との連携による移住婚活支援の取り組みについて。

5番 井上 昭吾 <一問一答>

1 公設公園内へのスケートボード許可スペース設置について

(1) 市内でのプレーが全面禁止のスケートボードについて、一部公設公園内での許可スペース設置を提案します。茨木市の IBALAB@ (イバラボ) 広場のように入用を許可している公園もあり、誰にも優しいまちづくりをアピールする意味でも許可する場所を整備し、若者の流入や子育て世代の移住を促進すべきだと思いますが、市の考えをお聞きします。

2 デジタル人材の確保・育成について

(1) デジタル化が進展する社会で、庁舎内のどの部署にもデジタル人材の必要性が高まっており、「さんだ里山スマートシティ構想」を円滑に進めるためにも組織内での人材育成は重要です。デジタル人材の確保・育成に向けてどのような対策を講じ、どのように配置する計画なのか、市の考えをお聞きします。

3 鳥獣害対策とジビエの有効活用について

(1) 第5次農業基本計画策定懇話会での委員の発言から、鳥獣害被害対策が農家の喫緊の課題だと感じました。また、現在捕獲頭数が商業ベースに届かないという理由で「ジビエの有効活用」を断念していますが、頭数が上がれば活用可能とも受け取れます。民間技術を生かした鳥獣害対策を含め、鳥獣害対策とジビエの有効活用について、市の考えをお聞きします。

4 有機給食の実現に向けた協議会の設置について

(1) 学校給食は有機農業活性化の切り札だと言われます。国は有機農産地づくり推進のため、2030年までに全国1割の市町村でのオーガニックビレッジ宣言を促していますが、三田市もこの宣言を視野に入れ、農業・環境・経済部門を巻き込んだ地域ぐるみの協議会を設置し、有機給食の実現に取り組むべきだと思いますが、市の考えをお聞きします。

5 バイオ炭の普及について

(1) 脱炭素社会に向けての取り組みの一つとして、バイオ炭を使った農地炭素埋設が注目されています。本市には(公社)三田市シルバー人材センター竹・バイオ資源活用普及会をはじめ、竹炭を熱心に作っている市民団体が複数あります。こうした団体・人材を生かして、今後より強く「バイオ炭」の普及に力を注ぐべきだと思いますが、市の考えをお聞きします。

14番 佐貫 尚子 <一問一答>

1 ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みについて

(1) 里山の森林資源を生かした薪ストーブなど好循環の取り組みを実施してはどうか。

(2) 食品ロス削減に向けた取り組みについて。

(ア) 市民啓発の取り組みについて。

(イ) 市内量販店に対して食品廃棄状況調査をしてはどうか。

2 子宮頸がんワクチンと検診について

- (1) 子宮頸がんワクチン接種勧奨の再開に向けた取り組みについて。
- (2) 接種機会を逃した対象者と再開後の定期接種対象者への相談体制について。
- (3) 子宮頸がん検診受診率の推移について。
- (4) 子宮頸がん検診費用を阪神間各市並みに軽減してはどうか。

1 番 林 政徳 <一問一答>

1 地域包括ケアと地域連携の現状と今後の市内における医療機能（急性期から慢性期）及び在宅支援への取り組みについて

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を考慮した救急搬送の課題。
- (2) かかりつけ医による急変時の対応。
- (3) 継続したリハビリテーションの必要性。
- (4) 在宅での生活機能低下防止のための取り組み。
- (5) 安否確認が必要な市民に対する取り組み。
- (6) 地域包括支援センター・高齢者支援センターと市民との地域連携の現状。